

かわ さかな 川にすむ魚たち

～がんばったよ、イワナの里づくり体験学習～



あおもりの川を愛する会
奥入瀬川漁業協同組合

目 次

発行にあたって	1
自分のすむ地域の川はどんな川？	2
瀬と淵	4
奥入瀬川・鳶川ってどんな川？	6
鳶川のようす	8
奥入瀬川にはどんな魚がいるのかな	10
川の上流・中流・下流のようす	12
イワナとアメマスの一生	14
イワナの産卵床	16
がんばったよ「イワナの里づくり」体験学習	18
全校イワナ焼き体験学習（9月15日）	
川の調べ学習（6月～10月）	
イワナの里づくり事前学習会（10月6日）	
イワナの里づくり（10月7日）	
環境演劇「水たんけんたい～イワナの旅～」（11月）	
法奥小学校の「みどり学習（総合的な学習の時間）」を紹介します！	
イワナの自然産卵・自然繁殖 鳶川川づくり活動	
法奥小学校 4年生児童の感想	
産卵しているか調べてみました	
あとがき～自然豊かな川をめざして～	30

発行にあたって

私たち「あおもりの川を愛する会」は、平成18年から奥入瀬川の支流鳴川を対象に、「イワナが安心して産卵できる川づくり」に取り組んできました。

最初の年は、イワナの勉強会や川づくりについての意見交換会、現地調査などを行い、19年の秋には、活動の一環として、鳴川の小溪流に「イワナの人工産卵床」を設置しましたが、その年は産卵を確認することは出来ませんでした。

翌年、私たちは、再度「人工産卵床」づくりに挑戦し、11月10日に初めて複数の受精卵を発見することが出来ました。

そこで、21年度は、地域の子供会や近隣の小中学校にも参加を呼びかけ、共同でイワナの産卵床づくり等を行うことにより「きれいな川がいのちを育む源である」ことが実感できる機会を児童に提供するとともに、児童の体験にもとづいた河川環境学習の手助けになる小冊子をつくり、地域社会に配布する事業を実施したいと考え、財団法人河川環境管理財団に対し「河川整備基金助成事業」として申請したところ、事業が採択されました。

さいわいなことに、自然環境保全などにかかわる校外学習に熱心に取り組んでおられる十和田市立法奥小学校の校長先生に「イワナの人工産卵床づくり」について説明し、協力・参加をお願いしたところ、この活動の趣旨にご理解を賜り、4学年の児童と教職員の方々が校外学習の一環（イワナの里づくり体験学習）として参加していただくこととなりました。

その後、「全校イワナ焼き体験学習」、「イワナの里づくり事前学習」を経て、10月7日には21名の児童が参加し、鳴川の小溪流で産卵床づくりを体験しました。

また、11月4日と24日に現地調査したところ、産卵を確認することが出来ました。児童の努力が実をむすんだことを喜び合いたいと思っています。

このたび、奥入瀬川やそこにすむ魚たちの生態、そしてイワナの里づくりに取り組んだ児童の活動記録などを取りまとめて小冊子をつくり、地域の方々にお配りすることにいたしました。河川についての環境学習の一助になれば幸いです。

「イワナの里づくり」活動にあたっては、多くの方々からご支援をいただきました。なかでも、十和田市立法奥小学校をはじめ、青森県産業技術センター内水面研究所、奥入瀬川漁業協同組合、奥瀬堰土地改良区、青森県河川砂防課、青森県上北地域県民局地域整備部及び地域農林水産部の関係者には心からお礼申し上げます。

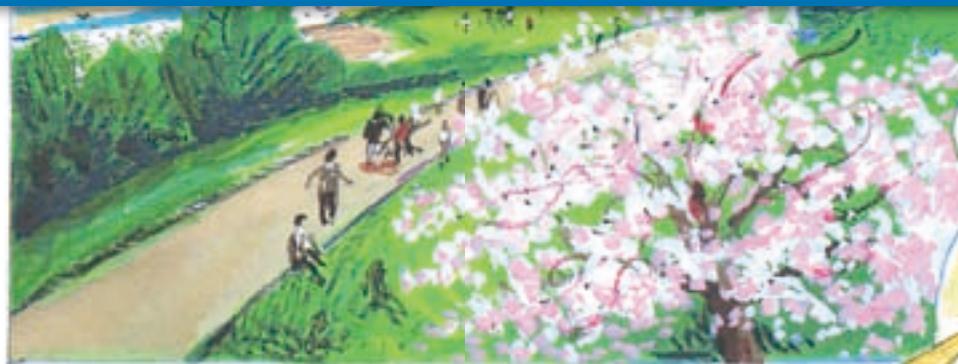
平成22年2月



あおもりの川を愛する会

会長 佐々木 幹夫

自分のすむ地域の川はどんな川？



川底の石は、まるみがでてきた

ぼくは中流の子 中流をじまんします

中流は、川が山から流れ出た平野の入口だ。
水の量も多くなって川幅はひろくなり、
両岸には堤防がつくられていて、
わたしたちを守ってくれている。
せせらぎやワンド（※）も見える。ここは
自然がいっぱいいいきづく、すてきな
ところだ。

※ワンド：川岸がへこんだ形になっているような、水の流れの影響を受けにくい所。水草などがたくさん繁るので、魚が卵を産み、卵からかえった小さな魚がえさをとって生きていくのによい場所となる。

出かけるときは、かなうす先生や家人につたえてから。
そして一人では行かないこと。
危険な場所にはちかづかないこと。

- ・その川の名前と、なぜその名前がついたのだろう
- ・どうからきて、どこまでも流れていいくのだろう
- ・自分の住むところは、上流、中流、下流のどこのにあるのだろう
- ・その川にかかわる地域の歴史や古びた物、くらしふりなど、どんなものがあるのだろう

- ・上流側と下流側の景色のちがい、どちらが好き、その理由
- ・川から見た、まわりの景色の特徴
- ・川原の石の大きさはどのくらい
- ・そのほかに気のついたこと

川へ出かけたら
見てみよう！



おたがいに、じまんしあったけど、
わたしたちは一本の川でもすばれた
なかよしぐみよ

ぼくは上流の子 上流をじまんするぞ！

なんといっても、水がきれいだ。山や谷の間を
さまざまな形で流れしていく姿を見せてくれる場所
なのだ。川の石や岩はゴツゴツしてるけど魚はも
ちろん、そこにはトビゲラやカゲロウなどの水生
昆虫もすんでいるよ。
ぼくたちが川をよそすと中流、下流のみんなにめ
いわくになるから気をつけるよ

川底の石はかくばった大きな石がおおい

わたしは下流の女の子 やっぱり下流がいいと思うわ。

町を流れる川には、船もたくさん見える。
すこしくだと海へたどりつくし、水上バス
が走り、河川敷地には公園やグラウンドが
あって、みんな楽しくあそんでるよ。
こんな元気のある川がすきなの。

川底は砂や泥が多くなる

瀬と淵

ここにあてはまる
文字は瀬か淵か?



ここは?

川にすむ
生き物たちにとって
瀬と淵は
それぞれ役割があり
大切な場所なんだ



ぼくたちのすむ淵は
深いところだね。
大きな岩かげでさ、
深くてゆったりできて

それ以上
しゃべっちゃだめよ。
ないしょの場所
なんだから

川の流れがまっすぐなところには、
淵はできにくい。
しかし大岩などがあると、流れが
岩のまわりをえぐって淵をつくる
こともある。



瀬と淵って
川のどの部分で
どんなところなの？



瀬と淵は、川底の形できまるんだ。
川底の形は水の流れ方や強さなどで変化する。流れがほほまつすぐな部分は瀬になるし、流れの曲がりかどや流れをさまたげる大岩などがあるところには淵ができるやすい。
●瀬は川底に石がごろごろしている浅い部分で、川の大部分は瀬なんだよ。
●淵は川底が深くえぐられたところで流れはゆるやかだよ。

オレたち大型の魚は
下流の淵がすみかなのさ



下流になるほど流れはゆるやかになり川底も平らになってきて、瀬と淵の区別がつきにくくなる。

おいらせがわ つたがわ 奥入瀬川・蔦川ってどんな川？

奥入瀬川は、十和田湖の東側の出口「子ノ口」から始まり、約14kmの溪流をくだったのち平野部に至り、青森県南部地方の穀倉地帯を東流して太平洋にそそぐ流域面積794.4km²、流路延長70.7kmの河川です。かんがい用水や発電用水の水源として利用され、また、漁業活動もさかんに行われています。

つたがわ はっこう だ さん おおだけ みなもと みなみ りゅう か やけやま おいらせ こうりゅう りゅういきめんせき りゅうろ
薦川は八甲田山大岳を源として南に流下し、焼山で奥入瀬川に合流する流域面積 37.6km²、流路
えんちょう かせん 延長 10.0km の河川です。

